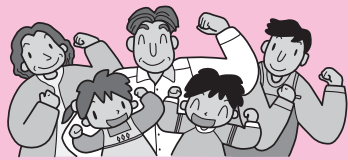


みんなでまちづくりをすすめよう
第五次総合基本計画



第五次総合基本計画策定の
 進行状況をお知らせします。

「昭島を元気にするには！」
第五次総合基本計画の策定に向けて
市民ワークショップを開催しました

第五次総合基本計画(計画年度:平成23年度～32年度)の策定にあたり、市民の皆さんから幅広く意見を聴くため、2月14日に市役所市民ホールで第2回市民ワークショップを開催しました。
 ※詳しくは、総合基本計画担当へ。

今回のワークショップでは、総合基本計画審議会で「第五次昭島市基本構想素案」が取りまとめられたことを受け、まちづくりの目標となる将来都市像「ともにつくる 未来につなぐ 元気都市 あきしま～人も元気 まちも元気 緑も元気～」の実現に向け、「昭島を元気にするには!」というテーマで、参加者に話し合っていました。

今回も、16歳以上の市民の方1000人を無作為で選び、このうち34人が参加して、6グループに分かれて活発な討議が行われました。

当日は、審議会委員でもある平石正美さん(国士舘大学教授)の講演「あきしまを元気にするための視点」もありました。

各グループで発表された意見は下の表のとおりです。



昭島を元気にするには！で発表された参加者の意見（要約）

Aグループ

1. スポーツで活性化(若者が積極的に参加できるスポーツを活性化し、地域のネットワークを充実させる)
2. 自治会を元気に(そのための人材作りと、活動する人たちを支える仕組みをつくる)
3. 子育てしやすいまちに(地域活動が活性化し、ネットワークを通じて子育てしやすいまちにつながる)

Bグループ

1. 子どもたちを元気に(元気良く一生懸命な先生がコミュニティスクールを作り、子どもたちが元気に成長)
2. 地域を元気に(公共施設などを活用し、地域で市民が気軽に意見を言える環境づくり/定年後の技術や経験を持った人を活用していけるような場を設ける)
3. 商店会を元気に(昭島版「道の駅」を作ってはどうか/商店街周辺に無料駐輪場・駐車場を整備する)

Cグループ

「外から人を呼ぶ」これが元気になるポイント。そのためには、まちの魅力づくりが大切。外から人が来れば、産直などで物が売れる。歩道なども整備されていまいちができる。

1. 自転車の活用(サイクリングロードの整備/エコ・健康に貢献/家族で参加できるロードレース大会の開催)
2. 複合施設(観光、健康、スポーツ施設)の整備
3. 公園の魅力アップ(昭和公園の名称を変更<昭和記念公園との差別化>/市民球場のスポンサーを探しては)

Dグループ

1. 自治会の活性化を図る(自治会でもワークショップの開催を/自治会活動に面白みを増やす)
2. 老若男女、外国人、企業勤労者など交流の機会を増やす(高齢者は学童保育へ自由に参加できるようにする/くじら祭などに外国人の方に出店してもらう)
3. 各種市民イベントの充実と広報活動の促進(市民活動の発表の場としてイベントを充実させる/広報紙及び市ホームページの活用により、市民の活動をみんなに知らせる)

Eグループ

1. 昭島を有名にする(くじらサミット・水道水日本一コンテストの開催、少年野球全国大会を市民球場で実施)
2. 子どもと高齢者が幸せになれるまちに(みんなのつながりや思いやりが大切<あいさつをしよう>/電柱を地中化してまちを美しく/歩道をもっと安全にし、自転車と車が安全に共存できる道を)
3. 高齢者の活用を図る(お年寄りが元気に活動できる場所と、技術を持った高齢者の活用を図るための人材バンク的な活動があると良い/自治会活動など地域に密着した活動を充実させる)

Fグループ

1. ホームページの充実(市民生活に直結した、具体的で見て楽しい・体系的で探しやすいホームページの実現を/最初は行政で手がけていくが、市民との協働により、市民のグループやボランティアが協力して充実させていく)
2. 予防医学、健康づくりの実現(元気になるためには健康が大切、予防・健康づくりを充実させる)
3. 地域サークルづくりとそのネットワーク化(地震対策・環境やエコに関するサークルなどさまざまなサークルが連携していく/行政の活動ともリンクして、若者、中学・高校生も参加し、ともに活動できる交流の場となる)